



人間学塾・中之島

塾 是

- 森 信三先生を始めとした先哲に学ぶ。
- 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
- 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。

第五期 塾生募集案内

三大綱領

◇ 念々志学

— 生涯学習を

目指しましょう

◇ 念々心願

— 一歩貢献を

念じましょう

◇ 念々感謝

— 師恩友益に

目覚めましょう

「三つの誓い」

一つでいい 一つがいい 小さな一つを やりつづけよう [行持]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 願いをもとう [心願]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 実を結ぼう [結実]

当塾の前身は「天分塾」にあり、森信三先生の高弟、寺田一清先生のご指導のもと新たに開塾した。源流は江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懷徳堂」「心学講舎」などにもある

ああ 中之島

作詩 寺田一清
作曲 小川けい子

(一) 名も高き 水の都の
なにわの地 ふかき伝統
うけつぎし 人間学塾
この地この時 ああ中之島

(二) 願いこめ この日の本^{ひもと}
再生を 心に秘めて
努めんや 心願達成
共に手をとり ああ中之島

(三) 天仰ぎ 地にひれ伏して
願わくば 師恩の光り
しみじみと 念々感謝
この学び舎に ああ中之島
この学び舎に ああ中之島

開講日・会場

- ◆ 毎月第2土曜 会場の都合により
午後1時より午後5時まで
変更があります。
- ◆ 研修会場
大阪大学中之島センター
10階 佐治敬三ホール
- ◆ 年間2回の宿泊研修
H28年11月(和歌山県・高野山宿坊)
H29年 3月(伊勢市・修養団青少年研修センター)
- ◆ 郊外学習「先哲 ふる里訪問」
H29年4月 下旬予定
- ◆ 塾生講話
塾生による実践講話

◆ 大阪大学中之島センター (TEL.06-6444-2100)
大阪市北区中之島4-3-53



電車によるアクセス・京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
 ・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
 ・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

受講費

年間 78,000円 (分割払いも可。相談応)

◆ 但し、学塾・中之島/旧天分塾卒業者は、年間 68,000円

◇ 宿泊研修 11月・3月 各一泊二日 (各実費15,000円程度)

◇ 必要に応じて懇親会開催 (実費)

年間開講日程

開講日	講師	テーマ
9月10日(土)	入塾式	
10月8日(土)	石川真理子	「 くらし 生活の中の武士道」
11月12日(土)	西中 務	「争わない生き方が道をはひらく」
宿泊研修		
11月13日(日)	坂田道信	「はがき道に生きる」
12月10日(土)	上甲 晃	「真理は単純明快!」
平成29年		
1月14日(土)	木南一志	「益は無くとも意味はある」
2月25日(土)	横田南嶺	「禅の教えに学ぶ」
(※ 第四土曜)		
3月18日(土)	白駒妃登美	「先人に学ぶ生き方の極意」
宿泊研修 (※ 第三土・日曜)		
3月19日(日)	寺岡 賢	「広やかなこころ日本のこころ」
4月8日(土)	中東 弘	「神話から学ぶ日本の文化」
5月13日(土)	神渡良平	「アメイソング・グレイス 一魂の夜明け」
6月10日(土)	要 明雄	「治すより 治る、生き方」
7月8日(土)	青木順子	「子供が論語に出会う時」
8月12日(土)	卒塾式	

《事務局》 〒648-0094
和歌山県橋本市三石台4-1-15
「人間学塾・中之島」 宮本 内
TEL 0736-38-3669・FAX 0736-38-3680
E・ﾌﾟﾚｽ mm3724@skyblue.ocn.ne.jp
携帯 090-1671-4725

第五期 講師紹介



いしかわまりこ
石川真理子

1966年東京都出身。武家の家系に生まれ、祖母から武家に伝わる薫陶を受ける。文化女子大(現・文化学園大学)卒業後、大手出版社に勤務。独立後は文筆活動の他、武士道や武家の生活文化を独自に学び、忘れられた「婦道」啓蒙活動を行う。主な著書『女子の武士道』『女子の教養』『勝海舟修養訓』(いずれも致知出版社)他多数。



にしな つとむ
西中 務

1942年大阪市生まれ。大阪大学法学部卒業。民間会社勤務を経て1970年大阪市に法律事務所を開業。法の立場からライフワークとして人間の生き方を研究。2012年エートス法律事務所弁護士法人エートスに入所。2015年『ベテラン弁護士士の争わない生き方』を出版、好評販売中。現在は、弁護士活動・講演など多忙を極めている。



さかたみのぶ
坂田道信

1940年、広島県生まれ。1971年、森信三先生とその弟子の徳永康起先生に出会い「複写ハガキ」を教えられる。苦しい生活が続くが、ハガキに励まされる。1982年、「複写ハガキを書くことは道である」と開眼「ハガキ道」を創始。「複写ハガキ」の世界が多くの人に広がることを願い、「ハガキ道」の講演で全国を脚行している。著書に『ハガキ道に生きる』など多数。



じょうこうあきら
上甲 晃

1941年大阪市に生まれる。1965年松下電器産業(株)に入社。1981年財団法人松下政経塾に出身。理事・塾頭を歴任。1996年退社し志ネットワーク社を設立。1997年『青年塾』を創設。現在第20期生を迎え、累計約1600名を超える。主な著書『志のみ持参』『人間として一流をめざす』『志を教える』『志を継ぐ』など著書多数。



きみなみかずし
木南一志

1959年1月兵庫県生まれ。株式会社新宮運送代表取締役。『S-DEC運動』という、4000日間の無事故無違反を推進する循環型の運動を実施、「事故が起きても仕方がない」という考えを壊し、社員の自発的な努力の必要性を促している。本物と呼ばれるような企業を目指して、柔軟なスタンスで事業を推進している。



よこたなんれい
横田南嶺

1964年和歌山県新宮市生まれ。1983年筑波大学に入学。東京都文京区白山道場龍雲院 小池心叟老師について出家得度。1987年筑波大学卒業、京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行。円覚寺足立大進老師に嗣法。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。『祈りの延命十句観音経』『二度とない人生だから今日一日は笑顔でいよう』など著書多数。



しらこまひとみ
白駒妃登美

埼玉県に生まれる。福岡県在住。慶應義塾大学経済学部卒業。大手航空会社の国際線乗務員として七年半勤務。退社後大病を経て、命を紡ぐことの大切さを実感し、福岡県を拠点に結婚コンサルタントの活動を始める。2012年『株式会社ことほぎ』を設立し講演活動に取り組んでいる。『ここに残る現代史』『子どもの心に光を灯す日本の偉人の物語』など著書多数。



てらおか まさる
寺岡 賢

1973年三重県生まれ。麗澤大学国際経済学部卒業。会社営業職を経て、家業の林業に従事。2003年、財団法人修養団に奉職。現在、伊勢道場・伊勢青少年研修センターにてみかく講習会(旧称:伊勢講習会)をはじめとした各種研修会や青少年活動の指導にあたりるとともに、各地での講演等にも出講している。公益財団法人修養団 講師。



なかひがし ひろし
中東 弘

1941年3月生まれ。1960年出雲大社にて神職の資格取得、同年愛媛県大山祇神社に奉職。1964年春日大社に奉職。この間雅楽を通じて諸外国に出演。1997年権宮司に就任、2006年同社定年退職。2009年より、「河内国一宮」にて日本太古の聖域である枚岡神社宮司を務める。現在神社本庁参与、皇学館大学評議員。



かみわたりりょうへい
神渡良平

1948年鹿児島生まれ。九州大学医学部中退後、新聞・雑誌記者を経て独立。38歳脳梗塞で倒れ半身不随となったが、必死のリハビリで再起。闘病生活中に、人生はたった一回しかないこと、使命があつてこの地上に送られていることを痛感。闘病中に起草した『安岡の世界』がベストセラーになり以後、講演や執筆に大忙しとなる。近作に『アメイジング・グレイス一魂の夜明け』他著書多数。

※ 講師は、都合により講師の推薦する方に変更する場合があります。



かなめ あきお
要 明雄

1931年神戸市生まれ。ホリスティック・スペース・ジャパン(HSJ)代表。医療法人かなめ会理事長。甲状腺専門の外科医として50数年医療に携わるなかで西洋医学のみならず、人間存在を身体だけでなく心身一如の存在と捉えるホリスティック医療の重要性を提唱。和歌山県太地町にHSJを設立、自然治癒力を最大限に活かす医療の促進に努めている。



あおきよりこ
青木順子

富山県高岡市生まれ。とやま論語を楽しむ会代表。2003年「富山廣徳塾」を富山知事公舎(現在は高志の国文学館)にて仲間7名で開塾。2007年「子ども論語塾」をスタート、現在七箇所でおとな・こどもの塾を開催。仕事をしながら、論語の普及活動を行っている。

「入塾式」平成28年9月より

「卒塾式」平成29年8月まで



塾生の 塾生による
塾生のための塾

顧問 清水正博

代表 細川三郎
副代表 宮武清寛
同 中川千都子
世話人 石井信次 今西健二
加藤昌夫 佐野満子
西村俊幸 古田修平
松本 学 宮本真弓

世話人